

項目	内容
名称	マッシュルーム、シャンピニオン、セイヨウマツタケ、ツクリタケ [英]Brown mushroom、common mushroom、champignon [学名]Agaricus bisporus. (J.E.Lange) Imbach
概要	マッシュルームは、ヨーロッパ原産のキノコで、シャンピニオンとも呼ばれる。サラダやバター炒めなど、西洋料理の食材としてよく用いられている。
法規・制度	<p>■ 食薬区分</p> <p>・セイヨウマツタケ (シャンピニオン/ツクリタケ) の子実体：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料)」に該当する。</p>
成分の特性・品質	
主な成分・性質	<p>・グルタミン酸誘導体 (アガリチン (beta-N- (gamma-L (+) glutamyl) -4- (hydroxymethyl) phenylhydrazine) (PMID:7737599)、サッカロピン、γ-グルタミンル3,4-ベンゾキノン)、長鎖アルキル誘導体 (3,7-ジメチル1,6オクタジエン-3-オール10-オキソ-8-デセン酸、ペンタデカン) などを含む (102)。</p> <p>・ポリフェノールを含む (105)。</p> <p>・マッシュルーム中のアガリチン含量は、湿重量で1,836 mg/kg (PMID:16755074)、400~700 mg/kg (PMID:6131022)、200~500 mg/kg (PMID:19680875) との報告がある。アガリチンは、酸性で分解しやすく (PMID:12456273)、また、シャンピニオンの冷蔵や凍結による保存、加熱などの処理によっても、その含量は低下する (PMID:12396396)。缶詰への加工でもアガ</p>

リチン含量はかなり減少し ([PMID:10755135](#))、検出できなかったとの報告もある ([PMID:6131022](#))。

分析法

・マッシュルームのアガリチンとその誘導体をHPLC-蛍光検出法 ([PMID:16755074](#))、LC-ESI-MS/MS法 ([PMID:17071520](#)) により分析した報告がある。

有効性

ヒトでの評価

循環器・呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
肥満	調べた文献の中に見当たらない。
その他	・口臭、体臭、糞便臭を自覚する成人77名 (日本) を対象とした二重盲検無作為化プラセボ対照試験において、シャンピニオン熱水抽出物を50 mg/日 (18名、平均64.8±7.3歳)、500 mg/日 (20名、平均64.0±7.9歳) または1,000 mg/日 (20名、平均63.2±6.8歳)、4週間摂取させたところ、臭気に関する自己評価 (VAS) では、50 mg摂取群で枕臭、500 mg摂取群で枕臭、パジャマ臭、糞便臭、1,000 mg摂取群で口臭、パジャマ臭、糞便臭の改善が認められた。また、他者評価 (VAS) では、500 mg、1,000 mg摂取群で口臭、パジャマ臭、全ての群で枕臭、糞便臭の改善が認められた (PMID:28053896)。

参考文献

- [\(PMID:7737599\) Food Chem Toxicol. 1995 Apr;33\(4\):257-64.](#)
[\(PMID:16755074\) Chem Pharm Bull \(Tokyo\). 2006 Jun;54\(6\):922-4.](#)
[\(PMID:6131022\) Food Chem Toxicol. 1982 Dec;20\(6\):903-7.](#)
[\(PMID:12456273\) Food Addit Contam. 2002 Nov;19\(11\):1028-33.](#)
[\(PMID:12396396\) Food Addit Contam. 2002 Sep;19\(9\):853-62.](#)
[\(PMID:10755135\) Food Addit Contam. 1999 Oct;16\(10\):439-46.](#)
[\(PMID:17071520\) Food Addit Contam. 2006 Nov;23\(11\):1179-86.](#)
[\(PMID:9276636\) Carcinogenesis. 1997 Aug;18\(8\):1603-8](#)
[\(PMID:17874834\) J Nutr Sci Vitaminol \(Tokyo\). 2007 Jun;53\(3\):277-86](#)
(22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳
(102) 健康・機能性食品の基原植物事典 中央法規
(103) 学名でひく食薬区分リスト 薬事日報社 佐竹元吉 監修
[\(104\) アガリクス 食品安全委員会](#)
(105) Funct Foods Health Dis. 2018;8(5):280-91.
[\(PMID:28053896\) J Tradit Complement Med. 2015 Dec 11;7\(1\):110-116.](#)
[\(PMID:19680875\) Food Addit Contam Part A Chem Anal Control Expo Risk Assess. 2009 Jan;26\(1\):82-93.](#)
(30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について)